

令和6年5月20日

各教育委員会教育長 様
各 学 校 長 様
関 係 各 位

東京都中学校教育研究会
会 長 本杉 貴保
(練馬区立練馬中学校 校長)
東京都中学校性教育研究会
会 長 青柳 美由紀
(江東区立深川第七中学校 副校長)

令和6年度 東京都中学校性教育研究会総会・第1回研修会について (ご案内)

5月の爽やかな風薫るこの頃、みなさまにおかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。また、日頃より本研究会へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて今年度も本研究会では、学校現場における性に関する課題について研究を進めると同時に、先進の情報を共有し授業方法の研究に取り組んでまいりたいと考えております。今回の研修会には下記のように講師をお招きし、講演と現場での取組など情報交換できればと考えております。ご多用のこととは存じますが、多くの方にご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

- 1 期 日 令和6年 6月 29日 (土)
- 2 時 間 10:00 ~ 12:00
- 3 会 場 江東区立深川第七中学校 江東区毛利1-14-1
(JR 錦糸町駅より徒歩7分、または 都営新宿線 住吉駅より徒歩5分)
- 4 内 容 ・総会 ・講演会
- 5 講 師

「多様な性を生きる子供たちが安心して過ごせる学校とは？
ーダイバーシティからインクルージョンへ」
帝京平成大学 健康メディカル学部 准教授 荘島 幸子 先生

※「LGBTQ+」という言葉が社会的に認知されるようになって久しい。しかし、それは必ずしも彼らが身近な関係性、地域、社会のなかで安心して暮らせるということと同義ではない。教育現場も同様である。LGBTQ+の子供たちの歩む人生は、“過酷なサバイバル・レース”といわれ、自殺のハイリスク者である。統計データからは、性的マイノリティ者は中学時代に自殺率の上昇することが明らかになっている。多様な性を生きる子供たちにとって、人生の第一関門となる中学校が安心して過ごせる場所となるためにできることはなんだろうか。正解を求めるのではなく、選択肢を増やすという点から、アイデアを出しあって考えてみたい。

- 6 参加申込方法 右のQRコード、またはお電話にてお申し込みください。
締切は6月21日(月)です。

- 7 問い合わせ先 江東区立深川第七中学校
副校長 青柳 美由紀
TEL 03-3631-5990

